

e-ビーフNEWS 北の牧場から

March 2015

春よ来い

暖かいですね。昨日はプラス7度まで上がりました。例年に比べ10℃以上も高いです。2月の初旬にマイナス24℃までいったのが信じられません。あれだけ積もった雪もだいぶ融け、地肌が見え、公園ではフクジュ草の開花のニュースが流れていました。日も伸びてきましたね。朝の散歩に、日の出が追い越してきました。

ワカサギ釣り、相も変わらず行きました。が、結氷した河に水が上ってきて雪とブレンドしシャーベット状態。じゃぶじゃぶの中で氷穴釣りに挑戦。生憎の吹雪でテントも張れず断念。今年はもう無理かな…。

先日、スノーシュー講習会を受けてきました。和名カンジキ。雪の上を歩く道具です。今のは、スキーのようなワンタッチ式で簡単に履けます。これを履いて、森を散策。いろんな足跡に出会いました。キタキツネ、野うさぎ、エゾリスそれぞれ特徴ある痕跡で、歩いて行った方向も分かります。木の芽もふっくらと膨らんできました。黙っているような木々も着々と春の装いを準備していました。



NEWSばか読み

- 日本フードサービス協 外食減少傾向。マック、居酒屋離れ
1/27:われ貢献度悪いかな
- 農水省 大規模農地の転用許可を知事に移管 1/27:地方再生につながるか
- 機能性食品表示で発酵乳が増加 比べ飲用乳減少
1/27:生乳が認知症に良いのに
- JA秋田 スターゼンと飼料米を給与したブランド豚共同開発
1/28:企業とコラボ増
- アジアの若者に生活の余裕 消費のけん引力
1/28:日本の若者にも分けてよ
- 円安で製造業に日本回帰現象 1/29:メイドインジャパンに本当の価値を
- スカイマーク 民事再生法申請
1/29:利用者としては応援したいが、LCCは安い。
- 明治安田生命 投資先に農業分野開拓
1/31:農業に金儲け企業が進出してくるよ
- ピケティブーム 格差経済に警笛 1/31:大都市・大企業は聞く耳を
- 住商 ブラジルで農業一括管理会社を設立 2/1:グローバル農業は金になる
- 大阪 BID(ビジネス改善地区)始動
2/2:社会貢献とビジネスの多様性、今後注目
- 14年家計調査 コメの購入量過去最低 パンに負ける
2/2:米粉パンもおいしいよ
- アーゲー監督 解任 2/4:世界に通じるサッカーの前に、世界に通じる人事管理

- 中国 高齢者2億人 2/4:さすが巨大マーケット
- 明治乳業 プリン体と戦く乳酸菌ヨーグルト発売 2/4:痛風者に朗報
- 東京圏に集中 人口が流入加速 2/6:確かに東京は住みやすくなっている
- JA全中 社団法人化に 2/10:農協に1本の矢が刺さった
- 牛丼すき屋 収益悪化 輸入原料牛肉2倍に値上
2/11:安い牛丼が食えなくなるよ
- 財務省 国借金1,029兆円国民一人当800万円
2/11:家のローンが無くなったのに
- 生乳 体細胞40万個に基準緩和 2/12:酪農母牛少しは長生きするか
- 外来種 指定リスト最終案 牧草は産産管理外来種 2/13:わかりません
- 米国農務省 日本の豚肉輸入量132万t世界一
2/13:褒められているのかどうなのか
- 福島 甲状腺がん検査で子供に確定 2/13:徐々に出てくるよ
- 地球温暖化 排出削減目標提出に日本遅れる 2/14:この足を踏んでる理由は
- コープさっぽろ 興部JAS有機牛の乳製品販売開始 2/14:拡がるか
- 春節万来 日本食品の売り込み強化 2/17:中国への食糧・食品基地を
- 兵庫県 神戸ビーフ輸出拡大へ姫路肉センター改築 2/17:エス頑張るな
- カナダ 6オメス牛 定型BSE確定 2/19:エサ? 原因究明が待たれる
- 福岡 西日本鉄道と全農 イチゴ栽培で合併会社設立 2/20:コラボ進むよ
- 米国 港湾スト収束 2/22:食料がどれだけ頼っているかがわかったよ
- 苦戦が続くコンピニに復調の兆し 2/22:シニアは応援するよ
- 東京マラソン ランニングポリス走完 2/23:日本標的と言うプロバガンダ
- 北海道 JA単協 生乳増産に独自の奨励制度 2/23:ソフトよりハードかな
- 農相 辞任 2/24:担当相、農協改革より議員モラルの改革でしょう

東京直近NEWS (2/26 Shi-REPORT)

ホルス 出荷頭数の減少影響が大きく、東京芝浦市場も上場頭数減少。2月ということで、末端の売れ行きが回復する要因は見られないが、加工場の稼働率を勘案して最低限の手当てをしても相場が上昇してしまう厳しい状況。末端も特売は見られなくなり、特売をしようにも玉が確保できない。産地側は実際に大きく取扱い頭数が減少しているわけではないが、それ以上に、販売先からは問合せ多く供給要請が増えている印象。価格についても、枝肉価格に見合っているかは微妙も、暫時値上げも容認状況。末端についても、玉不足が現実化してきており価格値上げと産地状況が浸透しつつある。

経産牛 相場は相変わらず高値継続維持。肥育牛の減少傾向から、相場高騰しており経産牛へのシフト傾向が増加傾向。問合せ増も、肥育牛同様に頭数は縮小傾向により潤沢な供給体制ではない。パーツは肥育牛からシフト傾向もあり、引合い強い。牛正肉は先の値上げにより、荷動きはやや鈍い。ただし、産地メーカーも頭数の回復見込みなく、在庫も希薄により価格下げでの放出版売は今のところ可能性は弱い。

活動のお知らせ

- 2月25日 ポテトピール検討会開催いたしました。カルビーポテト(帯広工場)カルビーポテト(帯広工場)では、経済産業省の補助で乾燥機導入を計画中。再来年度導入予定のため、計画していた農林水産省エコフィード緊急増産対策事業は、平成28年に応募に繰り下げ予定です。引き続きポテトピール検討会は開催し、飼料内容・供給牧場を詰めてゆきます。

左先生の畜産学研究NEWS

日本ではワソ人経済学者ト・ヒ・ケイの大著「21世紀の資本」が発売2ヶ月足らずで13万部を突破し書店が沸きました。1月29日に初来日、4日間の講演や対談、テレビ出演などをこなしました。内容は主に米国や欧州・日本の例を挙げて富や資産の格差拡大の指摘です。日本では、上位10%の富裕層の所得が全体所得の30%から40%に上昇し、富の集中が進んでいると指摘しています。「我慢すればいずれ果実が全体に行き渡る」というのは米国の例でも実現せず、タックスヘイブンへの富の流出を抑え、資本への累進課税で格差是正を図るとするのが主張のようです。安倍政権には警戒されるブームですが、税込み価格15,940と言う値段や700頁におよぶ長さは狙いとは裏腹に活字離れの若者よりも中高年向きです。一方、農協改革はJA全中の同意で全中の一般社団法人化と監査権の廃止で決着と西日本新聞は打ちました。改革は骨抜きという評価もあります。詳細は紙面の都合で次号にしますが、北と南の地域農協の反応比較も興味深いことです。e-びーふNews15号は14号以降入手した肉用牛研究会報98号の原著論文の概説です。

2.26肉用牛研究会報第98号 平成27年2月4日発行

1. 黒毛和種の脂肪交雑形状における消費者の意識調査（景山麻由ほか、帯畜大）消費者が牛肉を購入する判断基準としての「見た目」について、黒毛和種牛50頭からBMS 5-9のロース芯画像アンケート調査(男女高校生とその保護者計221人回答)を行い、好まれる脂肪交雑の形状について分析した。その結果、消費者は脂肪交雑量の多寡よりも細かい脂肪交雑を好む傾向が強いと思われた。

2. 黒毛和種繁殖雌牛における代謝プロファイルテストのための最適な採血時間の検討（渡邊貴之ら、独;家改セ鳥取牧場）黒毛和種繁殖牛の栄養診断に有効な代謝プロファイルテスト(MPT)の採血時間を検討するため乾乳群と泌乳群合わせて22頭の採食直前、2,4時間後の血液生化学検査(BC)値を分析した。BC値はエネルギー摂取動向により変動することが多く、特にケトン体を構成するアセト酢酸(ACAC)やβヒドロキシ酪酸(BHB)、遊離脂肪酸(FFA)そして血糖(Glu)は飼料摂取後4時間後の値が乳牛と同様に黒毛和種繁殖牛のMPTに最適と思われた。

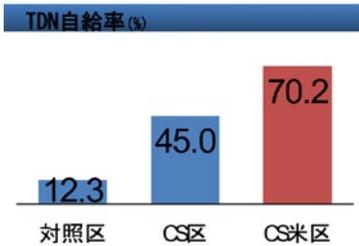
3. トリアシルグリセロール(TG)分子構成に基づく牛ロース芯不飽和脂肪酸割合の評価（常石英作ほか、九州農研セ）牛肉の品質評価における筋肉内中性脂肪(TG)分子構成の不飽和脂肪酸(TUFA)割合について検討。黒毛和種(JB)、褐毛和種、交雑種肥育牛27頭のロース芯からTUFAを、JB試料からTG分子種構成比を測定した。その結果TUFA割合が高まるとTG分子中のTUFAが2,3になる割合が増加、0,1は減少し、TG3が増すと牛肉脂肪は軟化し、食味のoily感が増すことからロース芯のTUFA割合は55-60%が最適と思われた。

4. 生豆腐粕、乾燥醤油粕混合発酵物を利用した配合飼料が黒毛和種去勢牛の発育、ルーメン内発酵特性および血液性状に及ぼす影響（安田香織ほか、京大）約13ヶ月齢の肥育前期黒毛和種去勢牛の飼料費節減の目的で生豆腐粕と乾燥醤油粕を混合発酵し、6頭に配合飼料の30%を代替給与してその効果を検討した。その結果、血漿中総コレステロールやリポ質濃度の上昇以外にルーメン内容液、増体成績に変化がないことが示された。

道総研 畜産試験場NEWS

飼料米ととうもろこしサイレージを活用した肉牛生産技術の開発 シリーズ4回
③とうもろこしサイレージの分離給与と肥育成績との関連(先月②続き)

道総研畜産試験場肉牛グループ 齋藤早春



飼料費(試算)

	CS米区	CS区	対照区
粗飼料(万円)	14.2	14.3	4.0
濃厚飼料(万円)	17.0	18.5	31.5
合計(万円)	31.2	32.8	35.5
対照区との差額(万円)	3.5	2.7	-

CS: 20円、乾草: 45円、粟稈: 20円、飼料米: 55円(加工代10円含む)、
濃厚飼料配合費: 55円として計算(粟価1kgあたり)

まとめ

破砕玄米40%混合濃厚飼料を制限し、とうもろこしサイレージを飽食給与しても

- ・飼料摂取量は低下せず、十分な増体
- ・枝肉成績は慣行肥育と遜色ない

↓

飼料米ととうもろこしサイレージ給与による肥育は十分可能

とうもろこしサイレージ主体TMR中の飼料米混合割合と採食量や消化率等との関連



CSと飼料米混合濃厚飼料の分離給与による肥育試験での採食比率および飼料米割合

	粗濃比(% DM)		全飼料中の破砕玄米割合(% DM)
	CS	濃厚飼料	
前期	58	42	17
中期	45	55	22
後期	50	50	20
全期間	51	49	20

試験方法

供試牛: ルーメンカニューレ装着黒毛和種去勢牛4頭

試験処理: CS主体TMR中の破砕玄米混合割合(乾物ベース)

前期用CS60%混合TMR: 0, 10, 20, 30%

後期用CS40%混合TMR: 0, 15, 30, 45%

飼料給与: 1日2回(9:00と16:30)給与

TMRは自由採食

前期用TMRの原料構成(% 乾物)

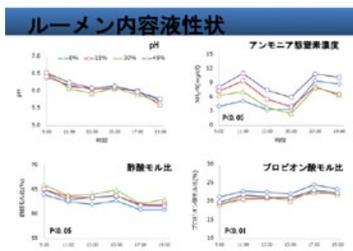
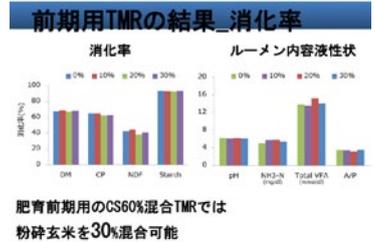
	破砕玄米混合割合			
	0%	10%	20%	30%
CS	60	60	60	60
破砕玄米	-	10	20	30
圧べんとうもろこし	29	19	10	-
大豆粕	11	11	10	10

乾物でCP13%、TDN71%に設定

後期用TMRの原料構成(% 乾物)

	破砕玄米混合割合			
	0%	15%	30%	45%
CS	40	40	40	40
破砕玄米	-	15	30	45
圧べんとうもろこし	35	23	10	-
圧べん大麦	11	8	6	-
大豆粕	6	7	7	7
フスマ	8	7	7	8

乾物でCP12.5%、TDN69%に設定



CS主体TMR中の破砕玄米割合は?

前期用は30%まで高めても特に問題なし
後期用は45%まで高めると、

- ・NDFおよびデンプンの消化率が著しく低下
- ・ルーメン内アンモニア窒素濃度が著しく低下

↓

肥育前期用、後期用ともに、破砕玄米割合は30%程度が良い